

9-10			
主題	在学中におけるボランティアの意義について		
法人名・事業所名	学校法人 サンシャイン学園 東京福祉保育専門学校		
発表者（職種）	鈴木 友理 介護福祉士学科2年生		
共同研究(実践)者			
電 話	03-3981-1686	FAX	03-3987-0360

事業所紹介	東京福祉保育専門学校は豊島区東池袋にある介護養成校です。1988年に都内で最初に厚生労働省より認可された伝統校です。施設との連携により、実践力のある学生を養成しています。
-------	---

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

平成28年度4月に入学する。少子高齢化の影響もあり、日本人の入学者も数10名程であり、介護福祉士を目指すうえで、2年間での自己成長の向上には何が必要であるかを考える。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

校内及び学外でのボランティアを体験することで、施設職員との関わりや地域での介護福祉士の役割を知ること。実際の高齢者と関わりが持てる時間を確保することで、介護福祉士に対する意識の向上を図る。

《3. 具体的な取り組みの内容》

施設でのボランティアでは地域における施設の役割をしる。高齢者の生活史を知ることでは会話ではなく、コミュニケーションへとレベルアップができた。高齢協とのタイアップにより、学校の先輩や施設職員との関係性の構築が図れる。

《4. 取り組みの結果》

学生の視点での発言に対して、施設職員の方はしっかりと耳を傾けていただき、適切な助言を頂ける。目標である介護福祉になるためには多くの利用者、介護職員との関わりを在学中に行うことで、実習及び授業でも役に立てることができた。

《5. 考察、まとめ》

介護の楽しさを介護を知らない人々に伝えていくことの難しさを学ぶ。介護職員の介護に対する熱い気持ちを共有することで。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

なし。

《8. 提案と発信》

在学中にボランティアをすることで介護の楽しさを知ることができる。多くの利用者及び若い職員との介護に対する目標が共有できると考える。